



Japan  
Display  
Inc.  
Group

# いちごトラストとの資本提携等 資本増強策の概要

2020年1月31日

株式会社ジャパンディスプレイ

# 本取引で目指す姿

**いちごトラストからの1,000億円超の資金注入** (注1)

大規模資本性資金の注入により長期安定資金を確保

**INCJによる既存債務のリファイナンス**

INCJへの既存債務を長期性・資本性資金に切替え、財務体質を改善

**取引先からの支援及び戦略的協業の継続協議**

当社顧客による装置買取（2億米ドル）及び有力サプライヤーとの事業・財務面での支援（5千万米ドル）

- **資本性の安定資金の確保と財務基盤の強化によるステークホルダーとの信頼関係の再構築**
- **いちごトラストの長期的支援による経営の強化**
- **成長投資による製品ポートフォリオの変革**

**事業の収益性改善による持続的な企業価値の向上**

(注) 1. 新株予約権の行使はいちごトラストの裁量。但し、資本提携契約上で、JDIが新株予約権の行使を合理的な根拠を示して要請した場合には、いちごトラストは当該要請を最大限尊重する旨を規定

# 資本提携の概要

## いちごトラストから最大1,008億円の第三者割当を実施 スコット キャロン氏が当社代表取締役会長に就任

正式名称	Ichigo Trust
概要	<ul style="list-style-type: none"><li>いちごアセットグループの投資信託</li><li>日本株投資に特化したロングオナーのバリュー投資家</li><li>長期厳選投資、エンゲージメント投資</li></ul>
第三者割当	<ul style="list-style-type: none"><li>B種優先株式： 504億円 ※内252億円は、エスクロー口座にDA締結後速やかに入金され払込期日まで維持 (注1)</li><li>第11回新株予約権： 無償 (注2) ※新株予約権の目的となる株式： C種優先株式(504億円)</li></ul> <p style="text-align: center;"><b>調達金額の総額： 最大1,008億円</b></p> <p>※算定書及びフェアネス・オピニオンに基づき、B種優先株式及び第11回新株予約権の発行条件及び払込金額は公正な水準と判断</p>
その他合意内容	<p><b>スコット キャロン氏※が当社代表取締役会長に就任予定 (B種優先株式の発行に係る払込完了後)</b></p> <p>※いちごアセットマネジメント(株)代表取締役社長 (注3)</p> 

- (注) 1. 資本提携契約上で、いちごトラストは、①上記金額をいちごトラスト名義の指定の銀行口座に入金し、②B種優先株式の払込期日まで当該口座で上記金額を維持し、JDIの事前の書面同意なくの引き出し・送金はできない旨を規定
2. 新株予約権の行使はいちごトラストの裁量。但し、資本提携契約上で、JDIが新株予約権の行使を合理的な根拠を示して要請した場合には、いちごトラストは当該要請を最大限尊重する旨を規定
3. いちごアセットマネジメント(株)は、いちごトラストとの投資一任契約に基づき同信託の運用を行ういちごアセットマネジメント・インターナショナル・パートナーズ・リミテッドへの投資助言を行う

# いちごトラストの概要

いちごトラストは、いちごアセットグループの投資信託  
いちごアセットマネジメントは、日本株投資に特化した独立系機関投資家

## いちごの投資理念

### ■ 長期厳選投資

- 日本株に特化したロングオナーのバリュー投資
- 詳細な企業分析
- ポートフォリオ占有率：上位5銘柄で50～70%、上位10銘柄で70～90%

### ■ エンゲージメント投資

- 投資先企業との「建設的な対話」と「信頼関係構築」に注力
- 上場会社と株主は一心同体－経営者責任と同様、株主も全てのステークホルダーのための価値創造実現のための株主責任を有する
- 各社の企業文化を尊重し、最大の理解者となれるように常に努める

### ■ 社会貢献投資

- 全てのステークホルダーのため、企業の中長期的成長と企業価値向上を支援
- 日本国民の資産形成に資するための、投資を通じた社会貢献



いちごの三方よし  
投資先企業のために  
顧客のために  
日本のために

いちごアセットグループ



# 第三者割当の詳細と資金使途

※詳細はプレスリリース・発行要項をご参照ください

## 第三者割当の詳細は以下の通り 調達される資金は、設備投資、運転資金、借入金返済資金等に充当

### 資金調達額・主要条件等

### 資金使途

発行日：2020年3月26日

#### B種優先株式 (注1・2・3)

1. 資金調達の額：504億円
2. 1株当たり払込金額：75円(6.72億株)
3. 普通株式への転換価額：50円(注4)
4. 潜在株式数：10.08億株
5. 議決権：有り

#### 新株予約権 (注1・2)

1. 資金調達の額：0円(無償発行)
2. 権利行使によりC種優先株式を割当(注5)

発行日：2020年4月1日～2023年3月31日

#### C種優先株式 (注2・3)

1. 資金調達の額：最大504億円
2. 1株当たり払込金額：75円
3. 普通株式への転換価額：50円(注4)
4. 潜在株式数：10.08億株
5. 議決権：無し

#### 1. 成長事業における設備投資：250億円

- ① OLED新製品対応：55億円
- ② 車載向け等LCD新製品対応：170億円
- ③ センサー事業等設備投資：25億円

#### 2. 運転資金：249億円

当社顧客及び取引先による資金繰り支援の一部を正常化：249億円

※その他：発行諸費用 4.7億円

#### 借入金の弁済：499億円

INCJからの借入の期限前弁済：499億円

(新株予約権の行使による払込金額の総額が減少した場合には、手元資金での弁済、又は借入期限の延長申入れを行う予定)

※その他：発行諸費用 4.7億円

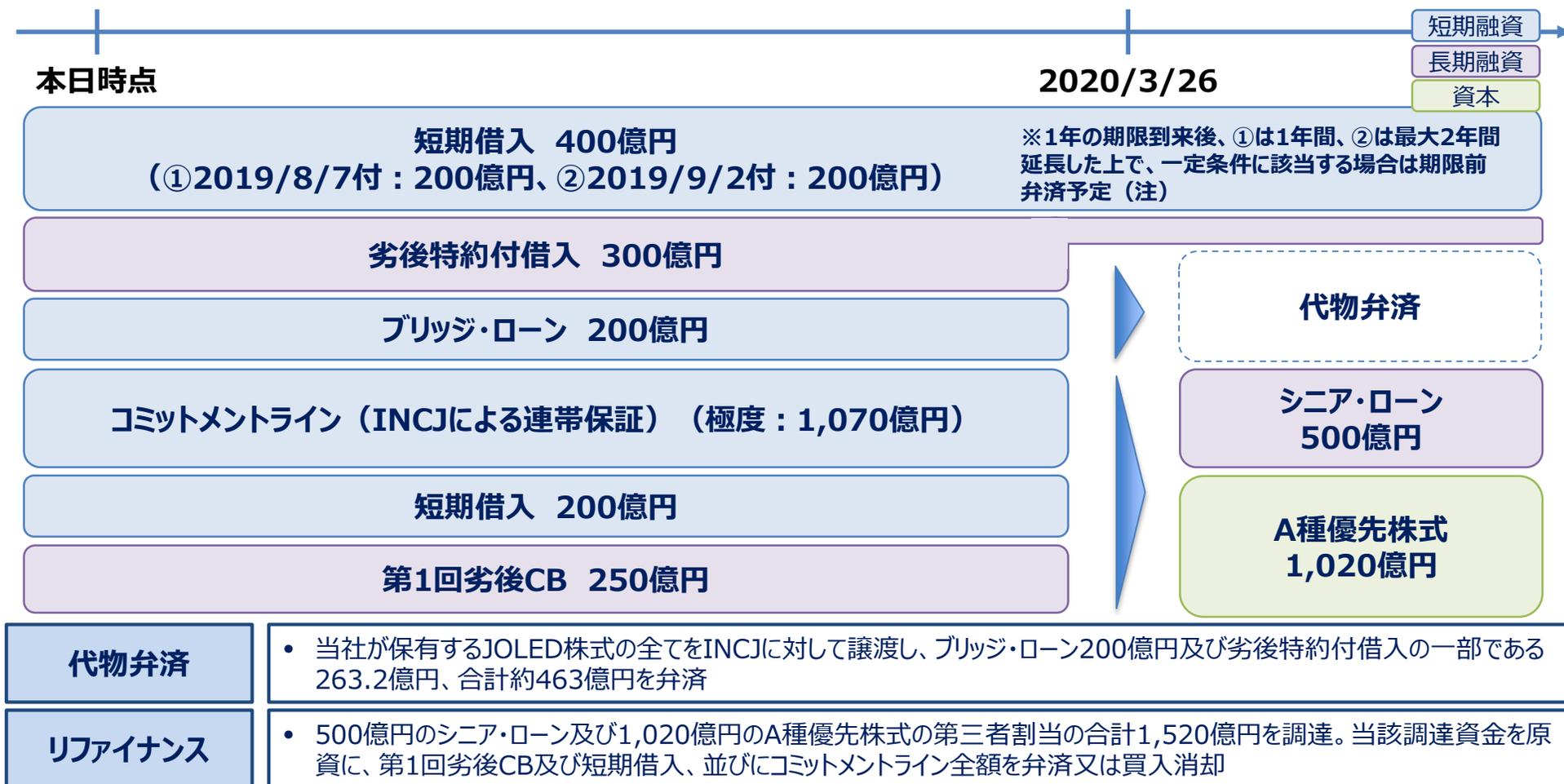
- 注1. 第三者割当の方法により、B種優先株式及び新株予約権をいちごトラストに割り当てる。なお、B種払込資金のうち、252億円はエスクロー口座に入金され、払込期日まで維持
2. 譲渡は当社取締役会の承認が必要。また、転換後の普通株式について、B種優先株式6.72億株のうち、3.36億株に係る普通株式は発行日の3年後まで、残り3.36億株に係る普通株式は発行日の5年後まで譲渡不可
3. その他条件 ①剰余金の配当：普通株式と同額・同順位、②残余財産の分配：普通株式には優先
4. 発行日の1年後（B種については2021年3月26日、C種についてはそれ以降を想定）までは転換請求不可
5. 行使可能期間：2020年4月1日から2023年3月31日

### 既存の少数株主様に最大限配慮

- 「上場普通株そのものの当初からの希薄化」を防ぐための工夫を実施
  - ✓ 払込金額は時価近傍の価格(当初の議決権株の希薄化の最小化)
  - ✓ 1年間は、普通株への転換請求不可 (当初の普通株の希薄化の防止)
- さらには、長期安定大株主として企業価値向上にコミットメントして頂く為に、長期譲渡不可 (3年、5年)

# INCJへの既存債務のリファイナンス等による有利子負債の削減

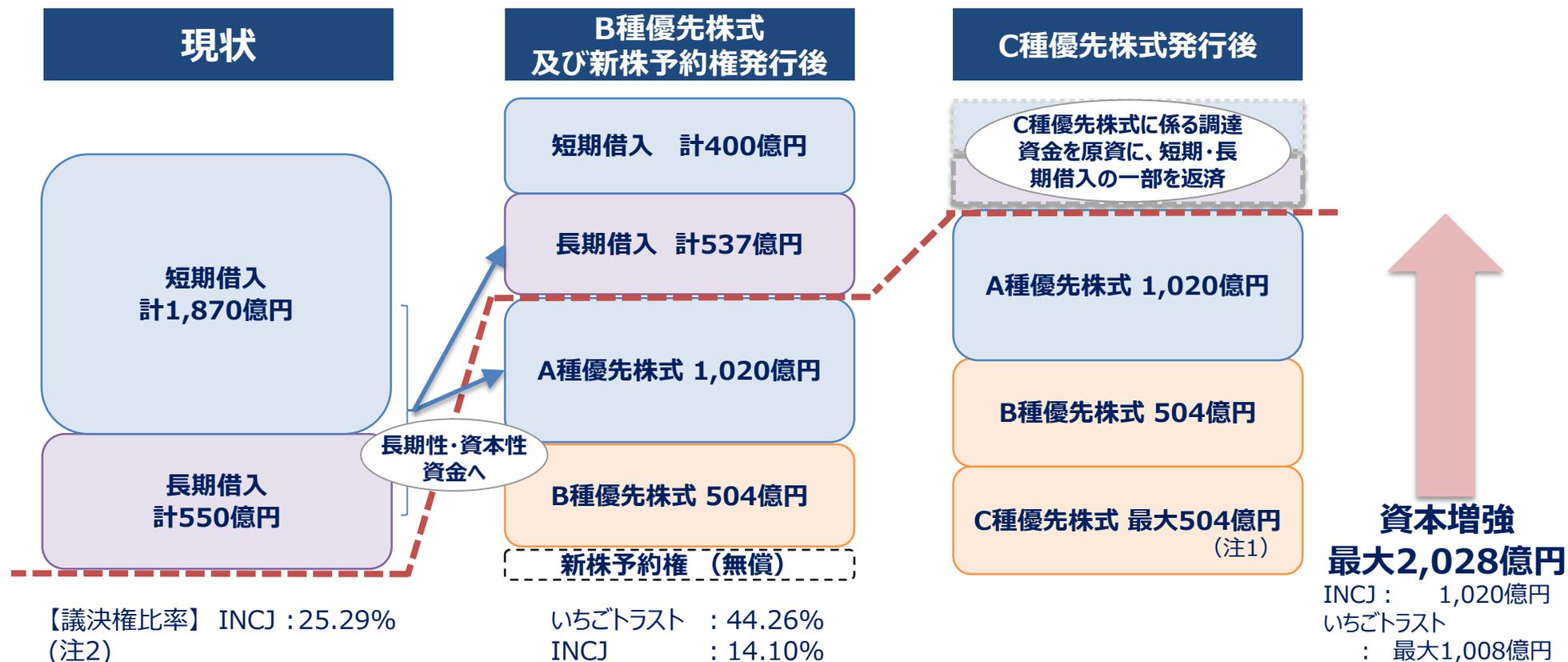
INCJからの既存債務のリファイナンス等を通じて、  
有利子負債の金額は約2,400億円から900億円強へ大幅に縮小



(注) 当社の要望があることが前提

# 本件実施後の資本構造

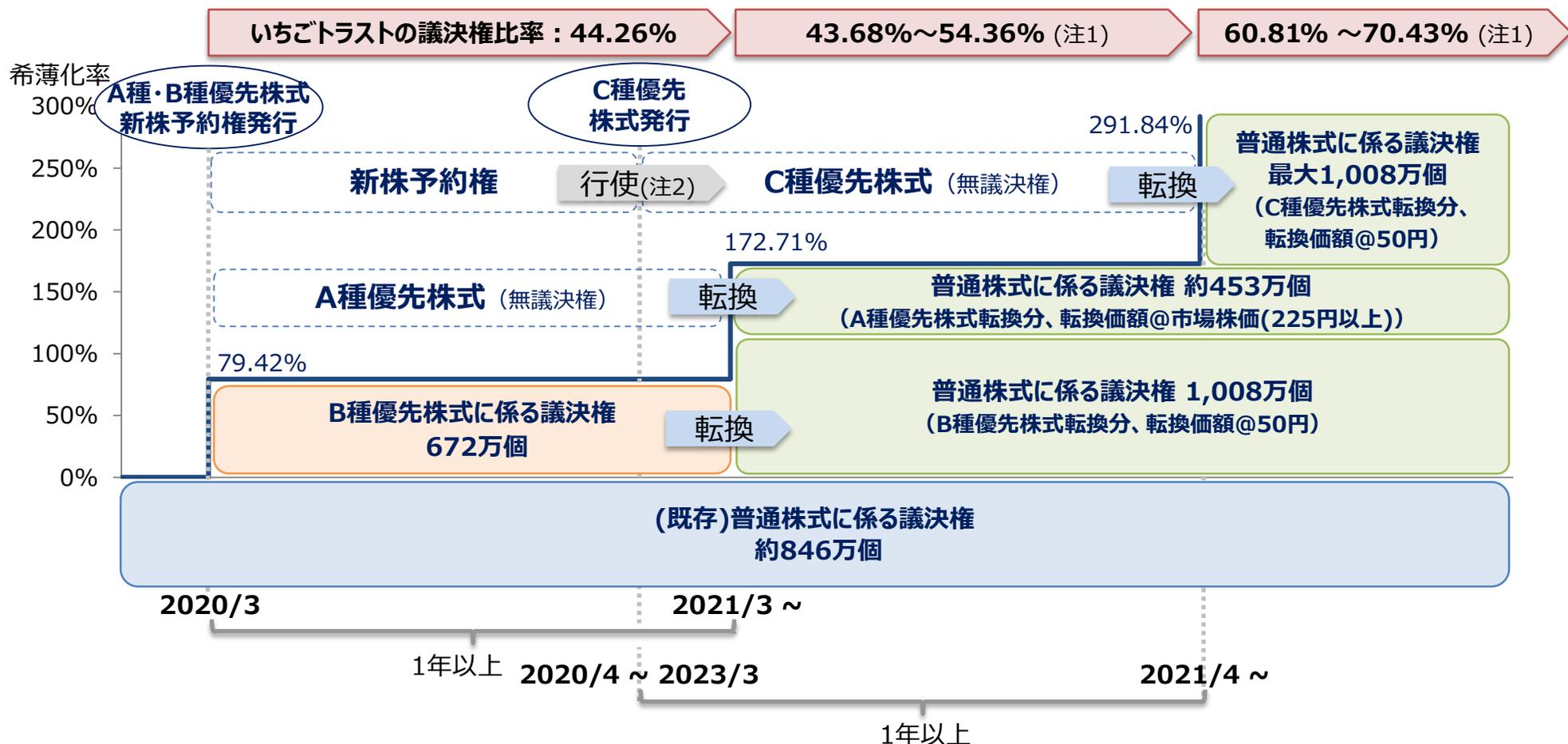
いちごトラストからのニューマネー（総額最大 1,008億円）及び INCJへの優先株式の割当（1,020億円）により、財務的安定性を確保



- (注) 1. 新株予約権の行使はいちごトラストの裁量。但し、資本提携契約上で、JDIが新株予約権の行使を合理的な根拠を示して要請した場合には、いちごトラストは当該要請を最大限尊重する旨を規定。新株予約権の行使による払込金額の総額が減少した場合には、手元資金での弁済、又は借入期限の延長申入れを行う予定
2. 潜在株考慮前

# (参考) 本件実施後の資本構造 (詳細試算)

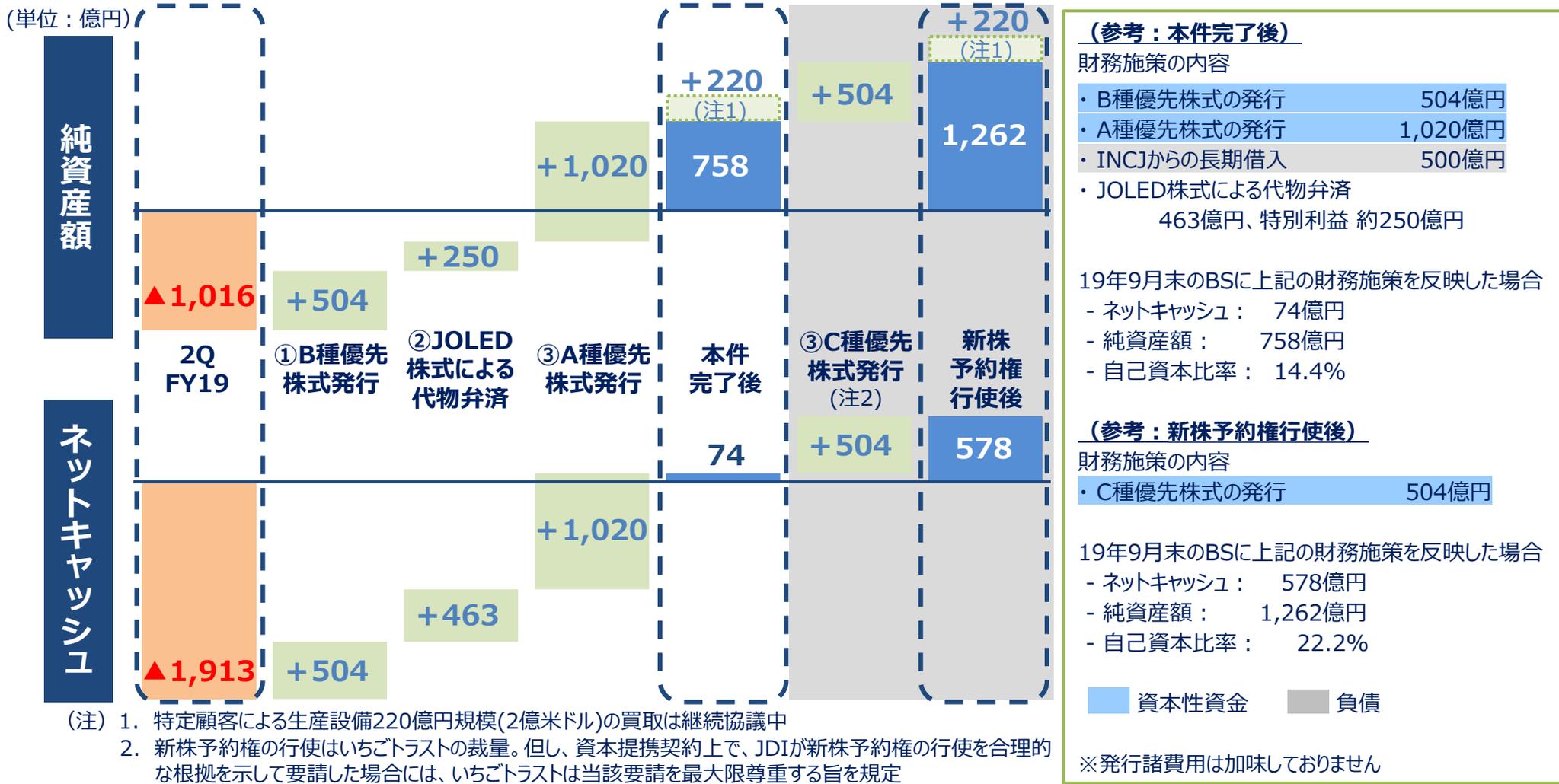
B種優先株の払込金額を普通株の時価近傍とすることで、クローリング直後の希薄化を緩和  
 段階的な議決権の付与により、急激な希薄化を抑制



- (注) 1. 最小値：完全希薄化ベース (= 全優先株式が普通株式に転換された場合) / 最大値：いちごトラスト保有のB種・C種優先株式のみを転換した場合  
 2. 新株予約権の行使はいちごトラストの裁量。但し、資本提携契約上で、JDIが新株予約権の行使を合理的な根拠を示して要請した場合には、いちごトラストは当該要請を最大限尊重する旨を規定

# 債務超過の解消に向けて

本件での財務施策の結果、当社は債務超過を解消すると共に、有利子負債も大幅に削減



# 成長投資による製品ポートフォリオの変革

成長市場をターゲットとした設備投資により、製品化・事業化を加速

共通技術基盤	フロントプレーン	成長事業	設備投資額
<b>LTPS</b> <b>Advanced-LTPS<sub>(注)</sub></b>	<b>OLED</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-きれい</li> <li>-バッテリー長持ち</li> <li>-長寿命</li> </ul> 	<b>55億円</b>
	<b>LCD</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-車内空間になじむ インテリアデバイス</li> <li>-自然なVR空間</li> </ul> 	<b>170億円</b>
	<b>センサー</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>-IoTを支えるセンサー</li> </ul> 	<b>25億円</b>

(注) LTPSとOxideの利点を兼ね備え、低消費電力、狭額縁等を実現

# スケジュール

2020年3月25日に臨時株主総会を開催し、  
翌26日にB種優先株式・新株予約権の発行に係る払込完了を予定

## 2020年1月31日

いちごトラストとの資本提携契約について決議・締結

いちごトラストへの第三者割当増資（B種優先株式及び第11回新株予約権）の発行決議

INCJとのリファイナンス契約についての決議・締結

## 2020年3月25日（予定）

臨時株主総会

## 2020年3月26日（予定）

B種優先株式及び第11回新株予約権の発行に係る払込み（注1）

INCJによるリファイナンスの実行（B種優先株式及び第11回新株予約権の発行に係る払込みと同時）

## 2020年4月1日～2023年3月31日

第11回新株予約権の行使、C種優先株式の発行（注2）

1. B種優先株式及び第11回新株予約権の発行は、2020年3月25日開催予定の臨時株主総会に係る下記の条件が全て満たされること等を条件とする
  - ・ B種優先株式及び第11回新株予約権の発行に関連する議案の特別決議による承認
  - ・ B種優先株式及びC種優先株式発行のための定款の一部変更に係る議案の特別決議による承認
  - ・ いちごアセットグループのスコット キャロン氏の取締役の選任議案の提出
2. C種優先株式の普通株式への転換は、C種優先株式の各発行日から1年後の応当日以降に転換請求可能



#### **将来予測及び見通しに関して**

本資料に記載される業界、市場動向または経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性および網羅性について保証するものではありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の個人消費その他の経済情勢、為替動向、スマートフォンその他の電子機器の市場動向、主要取引先の経営方針、原材料価格の変動等により、本資料記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

#### **ご注意**

この文書は、いかなる証券についての投資勧誘行為の一部をなすものではありません。この文書は、日本国内外を問わず投資勧誘を目的として作成されたものではありません。この文書は、米国における当社普通株式についての投資の募集、購入の勧誘行為の一部をなすものではありません。

本資料の内容は当社公表の適時開示資料の要約となります。正確な内容につきましては、各適時開示資料をご参照いただきますようお願い申し上げます。